

授 業 目 名	臨床運動性構音障害学Ⅱ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	熊田 華恵	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 1年半学んできた運動性構音障害の知識を基に検査の仕方、訓練立案までを習得する。</p> <p>〔学習目標〕 検査の実施にあたって必要な知識・技術を理解する 検査結果から訓練の立案までをスムーズにできるようになる。 検査、評価の臨床的視点、考え方を理解する</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	オリエンテーション		
第 2 回	訓練とは・呼吸発声訓練		
第 3 回	共鳴訓練・口腔顔面訓練		
第 4 回	構音・発話速度調節・プロソディ訓練①		
第 5 回	構音・発話速度調節・プロソディ訓練②		
第 6 回	ペーシングボードの作成		
第 7 回	ペーシングボードを使った訓練		
第 8 回	AAC①		
第 9 回	AAC②		
第 10 回	訓練計画立案(グループワーク)①		
第 11 回	訓練計画立案(グループワーク)②		
第 12 回	訓練計画立案(グループワーク)③		
第 13 回	訓練計画立案(グループワーク)④		
第 14 回	実技試験		
第 15 回	実技試験		
評 価 方 法	実技試験 6割、課題レポート4割で評価します		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 ディサースリアの基礎と臨床第三巻臨床実用編/インテルナ出版</p> <p>〔参考図書〕 ケースで学ぶ ディサースリア インテルナ出版</p>		
履 修 上 の 留 意 点	グループワークやディスカッションを中心に行います。レポート作成もあります。		
メ ッ セ ー ジ	臨床や実習に直結する授業にしていきたいと思います。積極的に参加してください。		